

# 同志社大学英文学会

## 2021年度年次大会および総会



日時 / 10月24日(日) 13:00~17:30

開催方式が完全オンラインに変更されましたので、参加をご希望の方は学会HPから事前登録をお願いいたします

場所 / 同志社大学今出川校地 明德館1番教室およびZoomによるオンライン配信

開会の辞 (13:00~13:10)

会長 石塚 則子

年次大会 (13:10~16:30) 【明德館1番教室・オンライン】

● 研究発表 (13:10~13:40)

S. T. コウルリッジの『クリスタベル』における境界

同志社大学大学院文学研究科博士後期課程 金澤 朋紀

司会 金津 和美

● 講演1 (13:45~14:30)

Sylphの変容 — ロマンティック・バレエとイギリス文学

同志社大学 桐山 恵子

司会 下楠 昌哉

● 講演2 (14:30~15:15)

語り手を一時的に「脇に置くこと」 — 物語りの受け手間の発話・視線・身体の調整

同志社大学 杉浦 秀行

司会 菊田 千春

—— 休憩 (15分) ——

● 特別講演 (15:30~16:30)

人文学の中の言語学、そして日英語比較からわかること

南山大学 斎藤 衛

司会 瀧田 健介

総会 (16:30~17:30) 【明德館1番教室・オンライン】

会計報告

諸報告

閉会の辞

司会 下楠 昌哉

大会準備委員長 瀧田 健介

### 特別講演者紹介—斎藤 衛 (さいとう まもる)

南山大学国際教養学部教授。Journal of East Asian Linguisticsの共編者であり、Linguistic Inquiry, Glossa, Linguistic Variation, English Linguistics, Linguisticsなどの編集委員、編集顧問も務める。主な編著書に、Issues in Japanese Linguistics (1986, Foris Publications, 共編著)、Move Alpha: Conditions on its Application and Output (1992, MIT Press, 共著)、The Free Word Order Phenomenon: Its Syntactic Sources and Diversity (2005, de Gruyter Mouton, 共編著)、The Oxford Handbook of Japanese Linguistics (2008, Oxford University Press, 共編)、Japanese Syntax in Comparative Perspective (2014, Oxford University Press, 編著)、『日本語文法ハンドブック：言語理論と言語獲得の観点から』(2016, 開拓社, 共編著)がある。

○年次大会及び総会へのオンライン参加については、本学会のサイトより10月15日(金)までにお申し込みください(<http://els.doshisha.ac.jp/>、右下のQRコードもご利用いただけます)。なお、誠に残念ですが、今年度は懇親会を開催いたしませんのでご了承ください。

○今年度の英文学会費年額5,000円を未納の方は同封の振替用紙でお納めください。納入された方には発行され次第刊行物をお送りいたします。

○大会当日、交通機関の不通等が発生した場合、開催の是非に関しては、原則として、同志社大学ホームページの「交通機関の不通と暴風警報・特別警報発表に伴う授業・試験の実施について」に準拠して決定しますので、次のURLをご参照ください。[https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/ls/than\\_ls.html](https://www.doshisha.ac.jp/students/curriculum/ls/than_ls.html)

○9月21日(秋学期開講日)の新型コロナの感染状況等によって、開催形態が全面オンラインに切り替わる場合は、学会ホームページを通じてお知らせいたします。

お問い合わせ・連絡先

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入ル 同志社大学文学部内、同志社大学英文学会事務局

(Tel.075-251-3740, Email [doshisha.englishsociety@gmail.com](mailto:doshisha.englishsociety@gmail.com))

